一橋大学の沿革

1875 年（明治 8 年）	8 月	森有礼氏が東京銀座尾張町に商法講習所を私設する。
	9 月	商法講習所の開設を東京会議所から東京府知事に届け出る。 この日，9 月 24 日を本学創立記念日とする。
	11 月	商法講習所は東京会議所の管理に委任される。
1876 年（明治 9 年）	5 月	木挽町に移転し，東京府立となる。
1884 年（明治 17 年）	3 月	農商務省の直轄となり，東京商業学校と改称する。
1885 年（明治 18 年）	5 月	文部省の直轄となる。
1887 年（明治 20 年）	10 月	高等商業学校と改称する。
1902 年（明治 35 年）	4 月	東京高等商業学校と改称する。
1920 年（大正 9 年）	4 月	東京商科大学となり，大学学部のほか予科，附属商学専門部，附属商業教員養成所を置く。
1930 年（昭和 5 年）	12 月	国立校舎が完成し移転する。
1933 年（昭和 8 年）	8 月	予科が小平校舎に移転する。
1944 年（昭和 19 年）	10 月	東京産業大学と改称する。
1947 年（昭和 22 年）	3 月	東京商科大学の旧名にもどる。
1949 年（昭和 24 年）	5 月	東京商科大学を改組し一橋大学とし，商学部，経済学部，法学社会学部を置く。新制の一橋大学に前期部を設ける。
1951 年（昭和 26 年）	4 月	法学社会学部を法学部と社会学部とに分離し，4 学部とする。
1953 年（昭和 28 年）	4 月	大学院を設け，4 研究科を置き，修士課程及び博士課程を置く。
1975 年（昭和 50 年）	10 月	創立 100 周年記念式典を挙行する。
1995 年（平成 7 年）	10 月	創立 120 周年記念式典を挙行する。
1996 年（平成 8 年）	4 月	言語社会研究科（独立研究科）を置き，修士課程及び博士課程を置く。
	5 月	学内共同教育研究施設として留学生センターを置く。
	5 月	小平分校を廃止する。
1997 年（平成 9 年）	4 月	学内共同教育研究施設としてイノベーション研究センターを置く。
	4 月	社会学研究科に「地球社会研究」専攻（独立専攻）を置く。
1998 年（平成 10 年）	4 月	経済学研究科を大学院重点化し，経済学部の基礎課程，応用課程を経済学科に改組。
	4 月	国際企業戦略研究科（独立研究科）を置き，修士課程及び博士課程を置く。 （学生受入は，修士課程が平成 12 年度，博士課程が平成 14 年度から）
1999 年（平成 11 年）	4 月	法学研究科を大学院重点化し，法学部の第一課程，第二課程，第三課程を法律学科に改組。
2000 年（平成 12 年）	4 月	商学研究科を大学院重点化する。
	4 月	社会学研究科を大学院重点化し，社会学部の社会理論課程，社会問題・政策課程，地域社会研究課程を社会学科に改組。
	10 月	創立 125 周年記念式典を挙行。
2003 年（平成 15 年）	5 月	小平国際キャンパス完成記念式典を挙行する。

2004 年（平成 16 年）	3 月	兼松講堂・大学院総合研究棟（マーキュリータワー）竣工記念式典を挙行する。
	4 月	国立大学法人一橋大学となる。
	4 月	法科大学院を設置する。
2005 年（平成 17 年）	4 月	国際・公共政策大学院を設置する。

（一橋大学案内 2010 より）